

診療用高エネルギー放射線発生装置設置届

年 月 日

山口県知事 様

郵便番号  
届出者 住 所  
氏 名 ㊟  
(電話 局 番)

下記のとおり診療用高エネルギー放射線発生装置を備えるので、医療法第15条第3項の規定により、関係書類を添えて届け出ます。

記

病院又は 診療所	名 称			
	所 在 地			
診療用高 エネルギー放射線 発生装置	製 作 者 名			
	型 式 及 び 台 数			
	定格出力	電 子 線	MeV	
		エックス線	MV mA	
診療用高 エネルギー放射線 発生装置 を使用する医師、歯 科医師又は診療放 射線技師	氏 名		職 種	放射線診療に関する経歴
使用開始予定年月日			年 月 日	

診療用 高エネルギー 放射線 発生装置の障 害防止に 関する 構造設 備	発生管容器からの漏えい放射線量の利用線錐放射線量に対する割合		1/1,000以下 ・ 1/1,000超		
	照射終了直後の不必要な放射線からの被ばくを低減する防護措置		有 ・ 無		
	放射線発生時の自動表示装置		有 ・ 無		
	インターロック装置		有 ・ 無		
	エックス線装置の併設		有 ・ 無		
	移動型の場合の保管場所				
診療用高エネルギー放射線発生装置使用室の障害防止に関する構造設備	主要構造部等		耐火構造・不燃材料を用いた構造・その他( )		
	画壁等の構造	構造概要		構造又は材料	厚さ(cm)
		区分			
		天井			
		床			
		画壁	東		
			西		
			南		
			北		
		監視用窓			
		出入口の扉			
	画壁等の外側における実効線量		1mSv/週以下 ・ 1mSv/週超		
	操作室		室内 ・ 室外		
	監視用モニター		有 ・ 無		
出入口	出入口の数	通常出入口 箇所 / 非常口 箇所			
	使用中自動表示	有 ・ 無			
標識		有 ・ 無			
放射線障害の防止に必要な注意事項の掲示		有 ・ 無			

その他障害の 予防措置	管 理 区 域	管理区域を設ける場所	別添のとおり
		境界における実効線量	1.3mSv/3月以下 ・ 1.3mSv/3月超
		標 識	有 ・ 無
		立 入 制 限 措 置	有 ・ 無
	敷地内の居住区域及び敷地の境界における実効線量		250 $\mu$ Sv/3月以下 ・ 250 $\mu$ Sv/3月超
	入院患者の被ばくする放射線(診療により被ばくする放射線を除く。)の実効線量		1.3mSv/3月以下 ・ 1.3mSv/3月超
	従事者等の被ばく放射線測定器具		フィルムバッジ・ポケット線量計・TLD・その他( )

## 添付書類

- 1 診療用高エネルギー放射線発生装置使用室の周辺図(隣室名及び上階又は下階の室名並びに周囲の状況を明記し、管理区域を設けた場合は、その区域及び標識の位置を朱線で記入したもの)
- 2 診療用高エネルギー放射線発生装置使用室の見取図
- 3 敷地の境界までの実効線量の測定結果(測定することが著しく困難な場合にあつては、その計算値)を記載した書類

注 届出者の氏名を自署したときは、押印することを要しないこと。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4とする。